

# お月見会をしました



十五夜とは、満月の夜に農耕に関する祭りをを行う収穫祭として親しまれていました。稲穂に見立てたすすきを飾り、月見団子や季節の食べ物を供えて、神に実りを感謝するようになりました。

〈こどもきせつのぎょうじ絵じてんより〉

ぶどう、さといも、くり、さつまいも、かき、稲、すすき、団子、秋の七草(すすき・ききょう・はぎ・ぐず・オミナエシ・フジバカマ・ナデシコ)の季節の収穫物をお供えしました。

十五夜の月は1年で1番キレイな月。

同じ月でも満月や半月や三日月に変化する話を聞いて、「どうして〜？」と不思議そうに見ていましたよ！！

♪ しょしょしょうじょうじ  
しょうじょうじの にわは〜  
つつつきよだ  
みんなでて こいこいこい



みんな

『指ロケットの歌』『しょうじょうじの狸ばやし』を歌い  
手拍子やたぬきの真似をして  
楽しみましたよ！！

はらづつみの練習をしていたたぬきのポンタがふとお地藏さまの足元を見ると、美味しそうなお団子や栗のお供え物。お月さまが雲に隠れてあたりは真っ暗になった時、お団子に手を伸ばすとパッとお月様が出てきて、ポンタを照らしたのです。すると、いつもニコニコしているお地藏さまの顔が怒った顔に変わっていました。

「お月様もお地藏さまもいつも自分たちのことを見ているんだな〜」 ちゃんとお願ひしなきゃね。



9月15日は十五夜でした。